



## 平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月28日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社  
 コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 久田宗弘  
 (氏名) 鎌田清孝

TEL 03-5764-5214

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	111,127	△2.9	5,087	△11.6	5,260	△10.3	3,237	△7.5
25年2月期第1四半期	114,453	△0.1	5,753	△21.2	5,864	△20.8	3,501	75.7

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 3,666百万円 (20.8%) 25年2月期第1四半期 3,036百万円 (77.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	23.02	—
25年2月期第1四半期	23.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	328,126	147,796	45.0
25年2月期	305,912	145,522	47.6

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 147,796百万円 25年2月期 145,522百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	9.00	—	10.00	19.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	229,800	1.4	12,600	2.6	12,400	1.0	7,200	1.4	51.19
通期	445,800	2.7	20,000	5.1	19,500	3.3	10,900	3.0	77.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	142,576,627 株	25年2月期	142,576,627 株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	1,880,993 株	25年2月期	1,916,069 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	140,673,618 株	25年2月期1Q	146,505,328 株

(注)自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
4. 補足情報 .....	9
商品別売上情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済対策、金融政策への期待感から円高修正や株高が進み、輸出企業を中心とした業績改善も見られましたが、新興国の成長鈍化、欧米諸国における財政問題等の景気下振れリスクなど先行きについては不透明な状況であり、雇用や所得環境の改善にはなお時間を要するものと思われま

す。小売業におきましては、消費者マインドの回復に明るい兆しも見られましたが、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については4店舗、退店については2店舗を実施いたしました。これにより当連結会計期間末日現在の店舗数は516店舗（カーマ133店舗、ダイキ159店舗、ホームマック224店舗）となりました。

販売面においては、4月から5月中旬にかけての低温により、園芸用品の売上を落とす結果となりましたが、プライベートブランド商品「DCMブランド」であるハーブ等の栽培セットや販促企画として「一坪菜園」などを展開することにより、新規需要の獲得に一定の成果を出しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は1,111億2千7百万円（前年同期比97.1%）、営業利益は50億8千7百万円（前年同期比88.4%）、経常利益は52億6千万円（前年同期比89.7%）、四半期純利益は32億3千7百万円（前年同期比92.5%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報」をご覧ください。

### (主要商品部門別の状況)

#### ① 園芸・エクステリア部門

園芸用品では、4月から5月にかけて低温などの天候不順により売上が伸び悩みましたが、昨年より提案を続けている「一坪菜園」やDCMブランド商品の栽培セットなどが好調でした。また、エクステリア用品は天候に左右される事なく、収納庫や高品質の人工芝などが好調でした。その結果、売上高は225億6千4百万円となりました。

#### ② ホームインブルーメント部門

昨年の爆弾低気圧による需要の反動や4月から5月にかけて低温などの天候不順により、波板、雨どいなどの屋外作業用品や作業衣料を中心とした季節商品の売上が伸び悩みましたが、売場拡大に取り組んだブランド安全靴やスポーツブランドシューズ企画などが好調でした。また、サビの上からも塗れる塗料を中心とした補修用品が好調でした。その結果、売上高は189億2千9百万円となりました。

#### ③ ホームレジャー・ペット部門

サイクル用品では、4月から5月にかけて低温などの天候不順により売上が伸び悩みましたが、重点的に販売に取り組んだ電動自転車が好調でした。また、5月中旬以降はレジャー用品が好調でした。ペット用品では、ドライフードの売上が伸び悩みましたが、半生タイプやパウチタイプのフードは好調でした。その結果、売上高は165億6千4百万円となりました。

#### ④ ハウスキーピング部門

日用品では、キッチン用品、清掃用品、浴用品などの売上が伸び悩みましたが、新規DCMブランド商品の圧縮袋を中心とした整理用品が好調でした。また、殺虫剤などの季節商品も低温傾向により4月までは伸び悩みましたが、5月以降は売上が好調に推移しました。食品部門では、販売を強化した米類やDCMブランドの飲料が好調でした。その結果、売上高は289億5千3百万円となりました。

#### ⑤ ホームファニシング部門

インテリア、寝具用品では、4月から5月にかけて低温が続く、い草製品やすだれなどの季節商品の売上が伸び悩みましたが、高反発マットレスなどが好調でした。家具収納用品では、新生活企画商品である多目的収納や椅子などの売上が伸び悩みましたが、品揃えを強化して販売したソファが好調でした。その結果、売上高は、83億1千7百万円となりました。

#### ⑥ ホームエレクトロニクス部門

4月から5月にかけての低温により、扇風機やエアコンなどの季節商品の売上が伸び悩みましたが、住宅設備関連では、キッチンコンロフェアなどの企画を実施したことにより、ビルトインコンロが好調でした。また、節電を意識したLED照明への買い替え需要など好調に推移しました。その結果、売上高は94億2百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、新規4店舗の出店などにより有形固定資産が増加したことや、季節的要因により商品在庫および売掛金が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して222億1千3百万円増加し、3,281億2千6百万円となりました。

負債残高は、季節的要因により買掛金が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して199億3千9百万円増加し、1,803億2千9百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して22億7千4百万円増加し、1,477億9千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月9日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,203	14,442
受取手形及び売掛金	3,224	5,707
リース投資資産	2,495	2,476
商品	72,252	80,913
繰延税金資産	1,153	1,001
その他	5,479	5,819
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	96,805	110,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	151,000	152,259
減価償却累計額	△88,836	△89,493
建物及び構築物（純額）	62,163	62,766
土地	70,222	71,478
リース資産	4,413	8,609
減価償却累計額	△566	△652
リース資産（純額）	3,846	7,957
建設仮勘定	2,084	3,750
その他	22,909	23,820
減価償却累計額	△17,006	△17,591
その他（純額）	5,902	6,228
有形固定資産合計	144,220	152,180
無形固定資産		
借地権	5,894	5,897
ソフトウェア	4,240	4,054
その他	198	197
無形固定資産合計	10,333	10,148
投資その他の資産		
投資有価証券	7,738	8,406
敷金及び保証金	41,341	41,978
繰延税金資産	1,672	1,018
長期前払費用	2,497	2,824
その他	1,364	1,265
貸倒引当金	△60	△59
投資その他の資産合計	54,552	55,434
固定資産合計	209,106	217,764
資産合計	305,912	328,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,229	55,738
短期借入金	37,650	43,950
1年内返済予定の長期借入金	21,404	19,775
リース債務	97	191
未払法人税等	2,619	1,319
繰延税金負債	7	5
賞与引当金	1,403	1,404
ポイント引当金	392	368
その他	10,377	12,284
流動負債合計	115,181	135,038
固定負債		
長期借入金	30,212	25,993
リース債務	4,345	8,396
繰延税金負債	542	705
再評価に係る繰延税金負債	209	209
退職給付引当金	458	47
役員退職慰労引当金	19	—
資産除去債務	1,299	1,257
長期預り金	5,529	5,573
負ののれん	92	92
その他	2,499	3,015
固定負債合計	45,208	45,290
負債合計	160,390	180,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	95,706	97,538
自己株式	△781	△767
株主資本合計	146,528	148,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	908	1,340
繰延ヘッジ損益	11	8
土地再評価差額金	△1,925	△1,925
その他の包括利益累計額合計	△1,005	△576
純資産合計	145,522	147,796
負債純資産合計	305,912	328,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)
売上高	113,119	109,734
売上原価	79,411	77,170
売上総利益	33,708	32,564
営業収入		
不動産賃貸収入	1,334	1,392
営業総利益	35,042	33,957
販売費及び一般管理費	29,289	28,869
営業利益	5,753	5,087
営業外収益		
受取利息	68	65
受取配当金	159	94
為替差益	77	195
その他	107	134
営業外収益合計	413	489
営業外費用		
支払利息	272	309
その他	30	7
営業外費用合計	302	317
経常利益	5,864	5,260
特別利益		
固定資産売却益	—	2
退職給付制度終了益	—	103
特別利益合計	—	106
特別損失		
固定資産除売却損	65	63
減損損失	24	46
その他	3	5
特別損失合計	93	115
税金等調整前四半期純利益	5,771	5,250
法人税、住民税及び事業税	833	1,280
法人税等調整額	1,436	732
法人税等合計	2,269	2,012
少数株主損益調整前四半期純利益	3,501	3,237
四半期純利益	3,501	3,237



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,501	3,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△441	432
繰延ヘッジ損益	△23	△3
その他の包括利益合計	△465	428
四半期包括利益	3,036	3,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,036	3,666
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	33,771	29,478	51,148	55	114,453	—	114,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	11,162	11,164	△11,164	—
計	33,771	29,479	51,149	11,218	125,618	△11,164	114,453
セグメント利益	1,485	1,084	3,019	1,874	7,463	△1,710	5,753

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△1,710百万円には、セグメント間取引消去△1,720百万円、その他10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	33,084	28,899	49,097	46	111,127	—	111,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	12,453	12,455	△12,455	—
計	33,084	28,900	49,098	12,499	123,582	△12,455	111,127
セグメント利益	1,637	987	2,245	2,284	7,155	△2,067	5,087

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,067百万円には、セグメント間取引消去△2,077百万円、その他10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 4. 補足情報

##### 商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	23,069	20.4	22,564	20.5	66,338	15.5
ホームインブルーブメント	19,169	16.9	18,929	17.2	73,929	17.2
ホームレジャー・ペット	16,912	15.0	16,564	15.1	64,026	14.9
ハウスキーピング	29,477	26.1	28,953	26.4	118,971	27.8
ホームファニッシング	8,938	7.9	8,317	7.6	33,180	7.7
ホームエレクトロニクス	10,191	9.0	9,402	8.6	48,779	11.4
その他	5,360	4.7	5,003	4.6	23,577	5.5
合計	113,119	100.0	109,734	100.0	428,803	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材他
ホームインブルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、住宅設備、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他